



## 恵みの数々

日本のみなさま、お元気でいらっしゃいますか。ここブラジリアは、8月末より久しぶりの雨が降り、乾いた大地が潤っています。湿度が15%まで落ちた首都ブラジリアの砂漠気候でしたが、恵みの雨によようやくホッと一息ついています。昨シーズン雨漏りのあった屋根の瓦を取り替え、雨季に備えているところです。

日本は例年にない猛暑日が続き、各地で熱中症や台風の被害も出ているようですが、みなさまのご健康とお働きの祝福を心からお祈り申し上げます。

さて、この数ヶ月は恵みの出来事が沢山ありました。7月23日の礼拝では、91歳の上野秀（うえのひいづ）さんが洗礼を受け、家族親戚一同と教会に大きな喜びがありました。終始祈るよう見つめる奥様と会衆の前で、上野さんは準備された信仰の証を力強く読まれ、最後にアーメンと結ばれました。（礼拝後の写真：中央が上野さん夫妻）



また同月25日のインクラ地区の訪問では、103歳の弓削瑞子（ゆげみずこ）さんも信仰告白に導かれました（写真右側）。同伴して下さった安井弘子先生が弓削さんの手を握りながら、信仰の決心を促していただきました。弓削「先生」は、初代宣教師の二宮睦子先生時代の日本語学校の働きを助けて下さった教師の一人で、訪問の度に日本語学校にと献金をささげてくださいます。

ご高齢の上野さん、弓削さんの信仰と健康が主にあって支えられ守られますように。

また、ヴァルゼンボニータの礼拝で洗礼志願をされた宮原ニウソンさんと洗礼の学びを始めています。ポルトガル語の受洗準備の冊子を共に読みながら、また彼の話じっくりと伺いながら信仰の確認の学びをしています。わが家の三男聖也（14歳）も、安井牧師と洗礼準備クラスを始めました。それぞれの信仰と日々の生活が主にあって守られるようにお祈りのご支援をお願いいたします。

9月17日には、日系移民115周年を記念しての「敬老祝会」、同月30日には「サッカー伝道」のイベントが開催予定。主の恵みが注がれ宣教が前進するようお祈り下さい。



8月4-5日には、「ブラジル日系人伝道100周年シンポジウム」がサンパウロで開催されました（写真左）。ホーリネスやフリーメソジスト、救世軍、アライアンス、聖公会などの諸教団が一同に集まり、この時代に届く宣教のあり方を模索し祈るときを持ちました。日系人クリスチャンは日系人口の約1%（約2万人）、教会と私自身のあり方が問われ、主の前にとりなし祈る必要を強く感じたシンポジウムでした。



## 近況と祈りのお願い

### ・ブラジリア教会

牧師館と教会食堂のリフォームが最善に導かれるように。安井敏明・弘子先生夫妻、役員や各リーダーの健康。9/17の敬老祝会、9/30のサッカー伝道のイベントの祝福。

### ・ヴァルゼンボニータの開拓／訪問伝道の祝福

受洗準備中のあゆみ姉とニウソン兄のため。受洗した上野秀兄、信仰決心した弓削瑞子さんの信仰と健康のため。毎月の書道教室と集会の祝福を。ヴァルゼンの各家庭の祝福を（宮原家、川村家、新保家、小山家、岩切家、前添家、伊藤家、大野家、仲田家、仲村渠家、中嶋家、園田家、伊波家、安田家、比嘉家、加野家、上間家、木村家、吉田家、岩川家、北原家ほか）

## 2023年7-8月 献金のご報告と感謝

(2023. 7-8月分)	(1-8月) 累計
指定献金: 695,796 円	(1,580,396 円)
現地支援: 189,720 円	(702,680円)
<b>合計: 885,516 円</b>	<b>(2,283,076円)</b>

### 2023年 献金目標額：410万円

（「浜田宣教師指定」310万円+現地支援100万円）

＊みなさまの尊いお献げものを心から感謝申し上げます。ご支援してくださっている諸教会とお一人おひとりの祝福を心からお祈りさせていただきます。

●オンラインでの説教奉仕や宣教報告も随時受け付けています。「-12時間」の時差がありますので、日本の日曜朝の礼拝奉仕も可能です。以下のメールからお気軽にお問い合わせください。